これは！と見抜いた開発ニーズを世界に訴えグローバル開発チーム立ち上げ

ダウ・ケミカルグループ　技術サービス＆開発（TS&D）S.M

1995年　中国から来日
2003年　東京工業大学大学院理工学研究科応用化学専攻卒業
修論『ロジウムやイリジウム触媒を用いたシリコーンにおける溝呂木ーHeck型反応』
2003年　日本の化学メーカーに入社
2017年　ダウ・ケミカル入社。ポリオレフィン樹脂（パッケージング＆スペシャルティープラスチック部門）の技術サービス＆開発職に

本職に没頭できる職場を求め、ダウへ転職

大学院を卒業してから、最初に入社したのは日本の化学メーカーでした。在籍中は、開発した液晶パネル用の回路接続材料が世界的なスマホブランドに採用されて、当該製品の世界シェア拡大に貢献し、特許も複数件獲得するなど、エンジニアとして満足のいく成果を上げていました。チームリーダーでもあるため、顧客とのやりとりに、月の半分以上は国内外に出張しているなど、バリバリの活躍ぶりだったと思います。
でも14年経って、ふと思ったんです。自分は、エンジニアとして本当に幸せなのだろうかと。考えてみたら、電話やメール、会議、出張精算、実験室の安全管理、ISOなどの監査対応…といった仕事に１日のほとんどを使っており、純粋な開発に傾ける時間はごく僅かになっていました。それで転職活動を始めたとき出会ったのがダウ。世界でもトップクラスの化学メーカーなら新たにいろいろな挑戦ができそうな気がしたこと、外資系ならではの効率的な会議やシステムが整備されており、ムダな事務作業もない働き方に魅力を感じたことが、決断の理由でした。

顧客に最も近い位置から社内外へ発信する調整役

ダウに入社して取り組むことになったのは、太陽電池封止材やホットメルト接着剤、運動靴のソールなどに使われる、ポリオレフィン樹脂の技術サービス＆開発（TS&D）です。営業担当をサポートして顧客のもとに通いながら、製品材料に関する技術的な課題や悩みを正確に汲み取る。そして、ダウの数多くの製品の中から最も適したものを選定する。時には、世界中のTS＆Dに問い合わせながら、最適な製品を探し出す。もし顧客の課題に応える製品が存在しなかった時は、R＆Dチームと相談しながら、自分で開発方針を決め、チームメンバーをセレクションして、新開発プロジェクト組みます。そして様々な関係部署を調整しながら、開発の方向性などを発信するのです。顧客から従来品を取り寄せ分析を手配したり、顧客の生産体制を理解して、最適な技術サービス手法を調整したりする、営業チームと協力して梱包や輸送方法といったことも含め、製品を提供するためのすべてを調整するポジションと言っていいでしょう。エンジニアとしての経験や感度を総動員しなければできない業務であり、さらに交渉力や、完遂に向けた強い意志も必要な難易度の高い仕事ですが、最終的に顧客の期待通りの製品を提供でき、感謝の言葉をもらった時などは、いちエンジニアとして開発していた時以上の達成感を味わえます。

自分から巻き込めば、大きな仕事に！

そんな中、特にやりがいに思うのは、様々な顧客ニーズの中から次世代開発テーマを発掘するのは自分なのだということ。開発の最発端から自分で開発していけるなんて、エンジニアとしてこんなに楽しいことはないと思います。しかも世界一と言っていいほど顧客要望の厳しい日本市場。世界の何歩も先を行く顧客ニーズに、常に接しているのです。

例えば海外の研究開発部門で、新製品が開発され、世界で拡販することになっても、そのままの状態では日本では売れません。そういう時、日本市場が求める性能を付加した新製品を開発すべきだとグローバルマーケティング部門に提案します。日本市場のためにコストはかけられないと難渋もしますが、日本市場が求める性能をクリアできたら、世界でも絶対売れるから開発すべきだと交渉を続ければ、世界中のエンジニアを集めたグローバル開発チームも結成されるのです。
こんな風に、個人の裁量権が大きく、これは！と思ったらいくらでも周りを巻き込んで仕事を大きくしていけるダウ。毎日、ワクワクしながら仕事ができており、好奇心の強い自分には、本当にぴったりの職場だったと思います。

ダウの魅力 ～まとめ～

1. 事務作業や長時間の会議が少ない
2. 個人の裁量権が大きい
3. 周りを巻き込んでどんどん仕事を大きくしていける

私のイチ押しポイント！　長時間労働がない

以前の会社では、朝6時半に出勤し、帰りはほぼ必ず夜10時過ぎ。土日以外起きている子ども顔を見ない（笑）毎日でした。ところがダウでは、朝は7時半に出勤して帰りは夕方５時半に定時退勤。家族との夕食や、子どもと遊んだり宿題を見てあげたりして過ごす時間も増え、本当に良かったと思っています。有給休暇も取りやすいので、あっという間に成長してしまう子どもとの時間を大事にしたいと思っています。

私の1日

7:30	家族と一緒に朝食。出勤
9:00	出社、仕事 ※会議や雑務が少なく純粋に開発業務に打ち込める
17:30	退勤
19:00	家族と夕飯
20:00	子どもと宿題
22:00	家で海外と電話会議・残務処理など